

令和2年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月24日(9:00~11:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 渡辺 富彦・田村 大器・神原 律子・相原 ゆかり・村上 かおり
藤原 亜矢・大内 美知・藤原 梨絵・矢野 美佐加・國貞 知子
松田 友子・川崎 兼次

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	11人	0人	0人	12人

前回の改善計画

初期支援では、サービス利用に至るこれまでの生活の経緯や家族の介護状況等を把握した上で、安心して受けられるサービスの調整を行っていく事が大切です。利用者さん本人の意向と家族の希望を明確化し、目指す到達目標が一つになればみんなで並走し、ずれがある場合は随時修正しながら、家族も一緒に到達目標に向け協力できるようにし、その情報をみんなで共有できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者さんの希望・目標が達成できるように、特に利用開始から一か月間ぐらいはしっかりと話を聞き関わりを多く持ち、できるだけ早く慣れ、楽しく過ごしてもらえるように対応させて頂きました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	9			12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	10	1		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	7			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	9			12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・アセスメント実施時に、利用者さんのニーズや家族さんの希望をしっかりと聞き取り、適切なサービスを提供し、利用者さんの不安を軽減できている。
- ・情報については、利用開始前に利用者情報シートを回覧して情報共有出来ている。気付きや問題については申し送りノート等で周知できており、ミーティングで話し合い色々試しながら支援している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・訴えの少ない利用者さんについては、家族さんの思いが強く反映された支援計画になりがちである。
- ・関わっていく中で新たな情報等を全員が把握出来るように努めているが、もっと早めに又、適確に申し送りノート等への記入が必要だと思う。
- ・大まかな情報は知る事ができるが支援する上でもっと深い情報が知りたくてもなかなか家族さんと接する事ができていない為に知り得る情報が少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

初期段階においては今まで以上に関わりを多く持ち、関わっていく中で気付いた事や新しい情報等は忘れないうちに申し送りノートに確実に記入して全職員で情報を共有し、適切な支援が行えるように対応していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月24日（9:00～11:00）

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 渡辺 富彦・田村 大器・神原 律子・相原 ゆかり・村上 かおり
藤原 亜矢・大内 美知・藤原 梨絵・矢野 美佐加・國貞 知子
松田 友子・川崎 兼次

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	10人	1人	0人	12人

前回の改善計画
利用者さんとの会話の中で、テレビや新聞広告等で美味しそうな食べ物を見た時、「美味しそうね」「食べたいね」「きれいだね」「行ってみたいね」等の声が聞こえます。普段の日常会話から、何気なく出た言葉や表情・口調等から読み取り、毎月のミーティングで共有し、少しでも個々の希望する生活が送れる様、具体的な援助の方針を検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者さん本人の思いを汲み取りながら自己決定を第一に考え、出来る限り希望に沿った支援を行い、自己実現に向けたサービス提供が出来るようにしました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	7	4		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	7	4		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		8	4		12
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	10	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 日々の関わりの中から一人ひとりの思いや希望を、ミーティングやカンファレンスの時に話し合い共有出来ている。 習字やカラオケがしたい柔らかいおやつが食べたいなど、分かりやすくすぐ出来る事はすぐにしている。 日頃から利用者の様子を観察し、不安やしたい事を伺うようにしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 輝きシートへの記入がなかなか出来ていない。 本人の性格が本当の所どうなのか？と思うので言葉を選んでしまう時がある。 利用者さんによってはなかなか本音や思いを出さない方もいるので、気持ちに沿った支援が難しいと思う事がある。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
	輝くシートは職員みんなで個々に記入しミーティングやカンファレンスで共有し、支援に活用していく。訴えの少ない利用者さんについても、ふれあう中で表情や顔色をしっかりと観察して思いを汲み取り、具体的な援助の方針を検討し「～したい」の実現に取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月24日（9:00～11:00）

3. 日常生活の支援

メンバー 渡辺 富彦・田村 大器・神原 律子・相原 ゆかり・村上 かおり
藤原 亜矢・大内 美知・藤原 梨絵・矢野 美佐加・國貞 知子
松田 友子・川崎 兼次

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	11人	1人	0人	12人

前回の改善計画
事業所内だけのケアにならない様、自宅での生活状況・介護状況等も把握し、施設・自宅・本人・家族・スタッフが共同して一体的なケアが出来るように調整が必要だと思えます。家族も自宅での生活以外に、施設での生活も見学してもらったり、お便りや電話・訪問や口頭でも伝えながら、自宅外での生活状況も把握して頂く必要がある。

前回の改善計画に対する取組み結果
自宅での生活状況や身体状況の変化、気づいた事などは、家族さんとの連絡ノートを通してある程度は把握できていると思えます。支援の変更等はミーティングやカンファレンスで話し合い対応しています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	6	7		14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	5	9			14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3	8	3		14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	6	8			14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	5	8	1		14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・出来ることはしてもらいながら、残存機能を維持していけるように支援している。
 ・体調の変化については皆で情報共有し、日々観察をしながらちょっとした気付きなどスタッフ内で報告・相談をしながらケアをしている。
 ・日常生活の中で本人らしく気持ちにゆとりを持って暮らせる様に支援する様努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・利用以前の、日常生活の細かい情報が把握できていない部分がある。
 ・利用者さんによってはスタッフ個々のとらえ方の違いがあり、統一した支援が出来ていない場合がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 アセスメント実施時に丁寧に日常生活の細かい部分の聞き取りを行い、利用者情報シートや申し送りノートを活用してスタッフみんなが情報を把握出来るようにする。自分らしく自立した生活を過ごしてもらえるようにミーティング等で話し合い、支援の方法を統一出来るようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月24日（9:00～11:00）

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 渡辺 富彦・田村 大器・神原 律子・相原 ゆかり・村上 かおり
藤原 亜矢・大内 美知・藤原 梨絵・矢野 美佐加・國貞 知子
松田 友子・川崎 兼次

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	4人	7人	1人	12人

前回の改善計画	今まで、自宅でサービスを受ける前に行っていた地域行事やイベント等への参加や、ひとりひとりの意向を確認しながら、本人が望む「地域」への参加が継続出来るよう支援する為、もう一度サービス利用前の地域との関わりについて再確認し、現在でも参加できそうな行事やイベントについては、出来るだけ参加できる様支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域でのサロン活動が開催されている時は参加して交流出来ているが、コロナの影響でほとんどの地域行事やイベントが中止になり、地域との関りを持つことは難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		8	3	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	6	4	1	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		8	3	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		4	6	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・地域で行われているサロン活動に参加して、地域の一員として係わりが持て地域との繋がりを継続出来ている。 ・利用者さんとの会話の中で通いでない日の様子を聞いたりしながら、地域とのつながりや関わりを把握している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・ご利用者全員が地域との繋がりをもち、地域資源を活用出来ているとは言えない。 ・民生委員の方との接点が少なく、関わる事があまりない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 継続して自宅でサービスを受ける前に行っていた地域行事やイベント等への参加や、一人ひとりの意向を確認しながら、本人が望む「地域」への参加が継続出来るよう、もう一度サービス利用前の地域との関わりについて再確認し、現在でも参加できそうな行事やイベントについては、出来るだけ参加できる様支援する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月24日（9:00～11:00）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 渡辺 富彦・田村 大器・神原 律子・相原 ゆかり・村上 かおり
藤原 亜矢・大内 美知・藤原 梨絵・矢野 美佐加・國貞 知子
松田 友子・川崎 兼次

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	8人	2人	0人	12人

前回の改善計画	前回同様、利用者本人の意見や意思を優先し、家族・介護者の意向を考慮しながら、必要な量のサービスが安心して受けられるように支援していく必要がある。いざという時に柔軟な対応が出来る様、普段からの利用者・家族との信頼関係を築き、何でも相談し合える関係性を作っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者さん本人の都合で「通い」や「泊り」の利用日変更等、希望があれば可能な限り調整して迅速な対応がとれている。利用者さんの思いを優先しなくてはいけないが、家族さんの介護負担や困っている事への相談を受けるとつつい家族さんのニーズに応じたサービスの変更等行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	6	4		12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	5	4		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	3	9			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2	9	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご利用者のニーズの変化やその時の状態に合わせて通いや泊りの調整を臨機応変に対応できている。 その日その時で利用者さんの状態は違うので、その時々で対応している。 体調の変化にはすぐにスタッフで共有し、相談協力して状態に合わせて支援している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご家族介護者の思い・訴えが強いとサービスに繋がりがちであり、利用者さんの思いへの考慮が十分ではないことがある。 毎日のミーティングで情報共有、気づき等伝え忘れることがある。 地域の資源をあまり活用できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>前回同様、利用者本人の意見や意思を優先し、家族・介護者の意向を考慮しながら、必要な量のサービスが安心して受けられるように支援していく必要がある。いざという時に柔軟な対応が出来る様、普段からの利用者・家族との信頼関係を築き、何でも相談し合える関係性を作っていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月24日（9:00～11:00）

6. 連携・協働

メンバー 渡辺 富彦・田村 大器・神原 律子・相原 ゆかり・村上 かおり
藤原 亜矢・大内 美知・藤原 梨絵・矢野 美佐加・國貞 知子
松田 友子・川崎 兼次

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	11人	0人	1人	12人

前回の改善計画	
今の状態が継続できる様にする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
今年はコロナウイルスの影響で地域との連携・協働を図るのは難しかった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		6	2	4	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	3	4	4	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	3	4	4	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		2	4	6	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍でもあり地域との連携は難しいが、タブレットの導入で交流の可能性の幅が広がっている。・今年はコロナの為に行事やイベントなどへの参加はできていないが、例年では積極的に参加できていると思う。・入院した利用者さんについては、医療機関とも連絡を取りながら状態の把握をするようにしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・まだまだ地域の方が気軽に事業所を訪ねてもらえるような環境は整っていない。・今年はコロナ禍でもあり、事業所のイベントや地域の活動もほとんどが中止となり、ボランティアさんの受け入れも出来ない状態である。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
気軽に事業所に来てもらえるように、地域合同避難訓練や夏祭り等のイベント時には、施設内を見学して頂いたり、支部便りやもっと地域の方へ事業所の紹介や役割を発信していくようにする。今後も、他サービス機関とも定期的に、また必要時には随時担当者会議を実施し、迅速に対応できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月24日（9:00～11:00）

7. 運営

メンバー 渡辺 富彦・田村 大器・神原 律子・相原 ゆかり・村上 かおり
藤原 亜矢・大内 美知・藤原 梨絵・矢野 美佐加・國貞 知子
松田 友子・川崎 兼次

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	10人	人	1人	12人

前回の改善計画	引き続き、利用者・家族・地域の方々からのご意見を頂きながら、改善点については迅速かつ丁寧に対応し、皆さんに喜んで利用して頂けるように対応していきたくと思います。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年はコロナウイルスの影響で事業所での色々な行事やイベントが中止となり、施設内を自由に見学して頂ける機会を設ける事は出来なかった。運営推進会議での参加者からの意見を参考に、サロンへ参加をすすめたり、今後見学会などを行い率直な意見を聞かせて頂きながら、少しでも地域に根付いた事業所となるようにスタッフみんなで目指しています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？		10	1	1	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	10	1		12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		9	1	2	12
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		6	4	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること <ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議で事業所の状況やヒヤリ・ハット等の報告を行い意見交換が出来ている。 ミーティングなどで運営について意見交換をしている。 家族さんから意見、苦情、要望などがあればすぐに申し送りをして対応し、再度ミーティング等で話し合い、調整したり改善が必要であれば改善していくようにしている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること <ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議以外で地域の方から意見を聞く事が少ない。 地域の方との関わる機会が少なく、つながりが希薄である。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 前回同様、誰でも気軽に訪れ、相談できる事業所であるように機会があれば外部に情報を発信し、外部評価結果なども有効に利用して、事業所を少しでも知って頂けるようにしていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月24日（9:00～11:00）

8. 質を向上するための取組み

メンバー 渡辺 富彦・田村 大器・神原 律子・相原 ゆかり・村上 かおり
藤原 亜矢・大内 美知・藤原 梨絵・矢野 美佐加・國貞 知子
松田 友子・川崎 兼次

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	11人	1人	0人	12人

前回の改善計画	実際のサービス提供場所だけでなく、自宅や外出先、その他サービスの範囲外でも、様々な場面を想定したリスク管理も必要で、可能な限り本人の生活全般におけるリスクマネジメントの実施を行う必要がある。
前回の改善計画に対する取組み結果	自宅でも安全に安心して過ごして頂けるように施設内での日々の関わりの中から、自宅での生活や外出先での様子を伺いながらリスクを回避できるように、リスクマネジメントを心掛けています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	6	3		12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		6	6		12
③	地域連絡会に参加していますか		4	5	3	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	2	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・些細な事でもヒヤリ・ハット報告書を作成し、ミーティング等で情報を共有して事故を未然に防げるように努力している。 ・内部研修や外部研修に参加し、サービスの向上を図っている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・内部研修に参加する職員は限られている。 ・今年はコロナ禍でもあり、ほとんどの研修が中止となり、外部研修に参加する機会が少なかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 自己のスキルアップを図る為に、内部研修に参加したり、苦手とする部分や希望する内容の外部研修に年に1回は参加できるように段取りして、介護の質を向上していけるようにする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月24日（9:00～11:00）

9. 人権・プライバシー

メンバー 渡辺 富彦・田村 大器・神原 律子・相原 ゆかり・村上 かおり
藤原 亜矢・大内 美知・藤原 梨絵・矢野 美佐加・國貞 知子
松田 友子・川崎 兼次

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	9人	2人	0人	12人

前回の改善計画	権利擁護について、内部・外部研修へ参加し、制度の理解と、身の回りの方々に該当者がいる場合、的確なアドバイスが出来るようにする。他研修同様、ミーティングで伝達研修を行い、スタッフみんなで知識と技術の習得を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	権利擁護についての研修会には参加できておらず、成年後見制度への理解が不十分である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	7	5			12
②	虐待は行われていない	8	4			12
③	プライバシーが守られている	9	3			12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	3	3	4	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	4	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ 幾度か参加した研修や勉強会で身体拘束や虐待について詳しく学び、行ってはいけないとの意識を強く持つことが出来ている。 ・ 人権尊重を大切にしてプライバシーを守りつつ個人の状態に応じた介護や対応に気を付けている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・ 職員同士の私語が目立ってしまっていることがある。手が離せない時について「ちょっと待って」と適切でない声掛けをしてしまう事がある。 ・ 成年後見制度を活用している利用者もおらず、制度への理解も十分ではない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 前回同様、権利擁護について、内部・外部研修へ参加し、制度の理解と、身の回りの方々に該当者がいる場合、的確なアドバイスが出来るようにする。他研修同様、ミーティングで伝達研修を行い、スタッフみんなで知識と技術の習得を図る。
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 今治市社会福祉協議会	代表者	会長 長野 和幸	法人・事業所の特徴	瀬戸内海のほぼ中央に位置しており、海と山に囲まれた自然豊かな島の中にゆったりと佇む事業所は、古民家を移築したもので木のぬくもりに溢れている。広々とした敷地の中には、グループホームやデイサービスセンター、近隣には保健センターもあり福祉の拠点となっている。 多くの職員が開設当初から勤務しており、チームワークを大切に笑顔で利用者さん一人ひとりと向き合いながら、夢のある暮らしの実現に向けて持っている力を発揮して頂けるよう支援している。
事業所名	今治市社協 小規模多機能ゆいの村	管理者	渡辺 富彦		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	5人	0人	0人	1人	4人	1人	0人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・もっと早く地域のかかわりシートをお願いし、まずは事業所を見て頂き、日頃の様子については行事報告や事業所の状況報告などを参考にし、できるだけイベントや行事に参加頂き、実際見て感じて頂き、各項目について、分かりにくい項目については、次回の運営推進会議で確認できるようにする。	・事前に事業所自己評価と外部評価 地域のかかわりシートを配布させてもらい記入して頂きました。運営推進会議の時に事業所を見学してもらい、その後地域のかかわりシートの各項目の内容について運営推進会議の場を借りて説明をしながら、意見を聞くことが出来ました。	・事業所を見学することで、利用者がどのように過ごしているのか分かり、職員の様子も知ることができるので今後も見学の機会を設けて欲しい。	・継続して、事前に地域のかかわりシートを記入してもらい事業所の見学も行い、運営推進会議の時に外部評価がスムーズに行えるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	・運営推進委員さんへも、行事やイベントへの参加はもちろん、自由に来所頂いたり、運営推進会議の場を利用し、見学して頂く回数を増やすなどしながら、率直なご意見を確認し、改善につなげていく。	・新型コロナウイルスの影響でほとんどの行事やイベントが中止になり、運営推進委員さんの行事への参加や事業所に自由に訪問して頂くことも出来なかった。	・日常生活の中で本人らしく気持ちにゆとりを持って暮らせるように支援する様努めている。	・継続して、運営推進委員さんへも、行事やイベントへの参加はもちろん、自由に来所頂いたり、運営推進会議の場を利用し、見学して頂く回数を増やすなどしながら、率直なご意見を確認し、改善につなげていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・もっと地域の方が気軽に訪れる事ができ、交流や相談に来るなど、事業所が地域の交流の拠点や相談所となる事が出来るようにする。	・新型コロナウイルスの影響で、地域の方が気軽に訪問して交流したり相談できる機会を確保することは出来なかった。	・地域行事やイベントなどへの参加は出来なかったが、タブレットの導入で交流の可能性の幅が広がっている。	・継続して、もっと地域の方が気軽に訪れる事ができ、交流や相談に来るなど、事業所が地域の交流の拠点や相談所となる事が出来るようにする。
D. 地域に Outreach して本人の暮らしを支える取組み	・地域の行事やイベントだけでなく、利用者さん一人ひとりが今まで地域を担ってきた役割を改めて確認、理解し、在宅で今まで当然のようにできていたお墓参り、お祭りへの参加、サロン活動や近所の方々との交流等も継続できるようにする。	・地域行事は中止となり出かけて参加する機会が無かったので、ドライブをして利用者さん個々が住み慣れた地域へ出かけて行きました。地域を問わず、外に出かけることを楽しみにされている利用者さんもいて、慣れ親しんだ風景を見て、色々昔を思い出して楽しくお話しして気分転換をする事が出来ました。	・日々の関わりの中から一人ひとりの思いや希望を聞いて支援に繋げていけるようにしている。	・継続して、地域の行事やイベントだけでなく、利用者さん一人ひとりが今まで地域を担ってきた役割を改めて確認、理解し、在宅で今まで当然のようにできていたお墓参り、お祭りへの参加、サロン活動や近所の方々との交流等も継続できるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・次回(4月)の運営推進会議で、大三島事業所のサービス内容デイサービス、グループホーム、小規模多機能型居宅介護の説明を行い、サービス内容について理解して頂き、その後の色々なイベントや行事へ参加して頂きながら、指導や助言を頂くようにする。	・第2回(6月)の運営推進会議で介護保険制度や地域密着型サービスの説明を行い、ゆいの村のパンフレットも配布してサービス内容について理解して頂けるように努めました。	・運営推進会議で、地域で心配な方等の事例検討が十分に行われていないと思う。	・運営推進会議の時に地域包括支援センターの方から、地域で困っている方等をピックアップしてもらい、どのように関わり支援していけばよいか検討していく。
F. 事業所の防災・災害対策	・本年度から福祉避難所としての指定を受けました。今後災害発生時、災害備品や備蓄品等の備えを確実にしていく為、最低でも宿泊定員(5名)+2名の計7名、3日分の備蓄品の確保を行い、災害発生時に備え、利用者・家族へも連絡する。	・宿泊定員(5名)+2名の計7名、3日分の備蓄品の確認を行いました。毎年実施している地域住民の方との合同消火避難訓練は、新型コロナウイルスの影響で実施できませんでしたが、2回/年の消火避難訓練を実施しました。反省会を通じ次回開催に向けての課題をクリアできる様、毎年繰り返し訓練を実施していこうと思います。	・災害の種類によっては、被害状況が予測されます。自然災害は予測通りにいきませんが、市や県が予測している規模の災害は起きることを想定して、対策を行ってください。	・地域の住民の方と一緒に消火避難訓練を行い、まずは災害時の対応マニュアルについて説明し、引き続き消火避難訓練に参加して頂く。他の自然災害時の訓練も随時実施しながら、同様にご可能な限り参加頂き、一緒に対応について検討していく。